

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 27 号	氏名	石田 正之
学位審査委員	主査	永安 武	
	副査	青柳 潔	
	副査	平山 謙二	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、ガイドシース併用気管支腔内断層法（EBUS-GS）による気管支鏡下肺生検の有用性を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 気管支鏡下肺生検例の臨床および病理診断に関するデータを EBUS-GS 使用群と非使用群の 2 群に分けて比較検討し、単変量・多変量解析を用いて両群の診断比率を算出し解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、EBUS-GS による気管支鏡下肺生検は、非使用群と比較して診断率が有意に高く、従来法に代わる診断法となり得る可能性が示唆された。</p>			
<p>以上のように本論文は呼吸器診断学の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			